

授業概要

金融や貨幣は、経済を円滑に機能させるためのいわば血液のような存在です。普段は、その重要性に気づかないものですが、いったん金融が正常に機能しなくなると、経済活動は混乱し、停滞してしまいます。また、経済や企業活動と同様に、金融もグローバル化が進展しており、より多角的な視点が必要になっています。この授業では、金融市場や貨幣といった金融のミクロ的側面、バブルや金融政策といったマクロ的側面、銀行の役割や金融規制といった制度的側面そして企業の資金調達といったファイナンス的側面を、それぞれ基礎から講義し、金融に関する理解を深めることを目指しています。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション / この授業で学ぶこと
第 2 回	金融システム、金融市場、金融仲介機関
第 3 回	バブルと金融危機
第 4 回	貨幣の機能
第 5 回	企業の資金調達
第 6 回	コーポレートファイナンスの実際
第 7 回	銀行の役割と課題
第 8 回	グローバルな金融規制
第 9 回	利子率の基本的考え方
第 10 回	株式市場と株価、分散投資
第 11 回	コーポレート・ガバナンス
第 12 回	為替レートの決定要因
第 13 回	貨幣市場の需要と供給
第 14 回	中央銀行の役割
第 15 回	金融政策
第 16 回	期末試験

到達目標

- 金融のミクロ的側面、マクロ的側面、制度的側面そしてファイナンス的側面を、それぞれ適切に理解できる。
- 人々が銀行預金をすること、また株式投資をすることの意味や違いを理解できる。
- 企業の各種の資金調達手段の違いを理解するとともに、それぞれの利点と問題点を指摘することができる。
- 日本で実施されてきた非伝統的金融政策の意義や限界などを、客観的に理解できる。

履修上の注意

金融の問題は、現実の事象として各種のメディアで頻繁に取り上げられているので、それらの記事を積極的に読むことを強く勧めます。

予習・復習

各回の講義で予定されているテーマを事前にある程度理解するとともに、各回の授業終了後に内容を復習することを求めます。

評価方法

学期末試験 70%、小テスト 15%、授業への参加姿勢（「質問・意見等」）15%

テキスト

教科書は使用しませんが、参考図書および文献等は授業の際に示します。